

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】 平成 28 年度

| | | | |
|---------|------------------|------------|---------------|
| 事業所番号 | 2770700678 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 博光福祉会 | | |
| 事業所名 | 寿里苑フェリスグループホーム | | |
| 所在地 | 大阪府河内長野市加賀田885-2 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 29年 1月 21日 | 評価結果市町村受理日 | 平成 29年 3月 24日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kajokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JikvovsCd=2770700678-00&PrefCd=27&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内 | | |
| 訪問調査日 | 平成 29年 2月 27日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームは老人保健施設併設型であり、合同での行事もたくさん行っています。老人保健施設やデイケアの利用者様・職員との交流を図る事が出来ており、刺激のある生活の提供を心掛けています。利用者様の立場に立って寄り添う事を念頭に日々の業務に当たり、いつまでも利用者様が明るく健康に過ごす事が出来るように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

介護老人保健施設の2階に併設されたグループホームは、同じフロアに通所リハビリテーションがあり、日頃から交流の場となっています。職員のケアへの意識が高く、理念を基に「安心して暮らしていただく」ことを大切に、利用者の楽しみに繋がるよう日常生活の中で融通性のある、個性を重視したケアが行われています。身体機能を維持するための体操やウォーキングラリー、買い物や散歩、併設施設の行事への参加、男の料理教室、包丁を片手に調理への参加、ベランダでのバーベキューやお茶会など様々な行事が行われており、利用者の楽しみ、機能の維持に繋がっています。職員は、一人ひとりの利用者丁寧に对应しており、チームワークもよく、気になる点があれば相互に注意をしています。リビングは明るく、畳のスペースに7段の雛人形を飾っています。アイドル犬も一緒に生活しています。ベランダにはテーブルや椅子が置いてあり、天気の良い日はお茶を飲み、家族を交えてバーベキューなども行いました。自然の採光と共に四季折々の景色を眺め、季節を感じる事ができます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 法人理念・グループホーム理念の実践を常に心掛けています。地域の方々やご家族様の理解と協力を得ながらご利用者様本位の支援の実践を行っています。 | 事業所の理念「皆様の立場に立ち、話し合いを持ち、大切な家族の一員であることをお約束します。地域・家族・あらゆる機関の協力を頂き、皆様がいっでも安心できる住まいであることをお約束します。私たちは誠意をもって行動し、努力する事を約束します」を利用者や家族、地域の人が見えるところに掲げています。職員は、理念のもとに常に「安心して暮らして頂く」ことを大切にしています。また、幸せを意味する「フェリス」は、自然からの幸せ、四季からの幸せ、人生からの幸せ、生きることの幸せ、をテーマとしています。職員は理念のもと、個別ケアを実践しています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 2 | 2 | <p>○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p> | <p>近隣への買い物や、毎日の散歩にて近隣住民の方との関わりを持っています。地域の中学生の職業体験や、小学生との交流会なども定期的に行っています。老人保健施設と併設している事で地域のボランティア様の来苑の機会にも恵まれています。</p> | <p>毎朝の散歩や買い物など、地域住民と挨拶を交わすなかで、住民と関わりながら暮らしています。また、保育園児や小学生の来苑があり、定期的に交流を図っています。盆踊りへの夜店の出店は、恒例となりました。お花見など地域の行事にも参加しています。介護老人保健施設、通所事業所に併設されており、利用者やボランティアの人とも交流を図る機会があります。</p> | |
| 3 | | <p>○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている</p> | <p>事業所に関する事だけではなく、施設内の見学や認知症に関する相談を随時、受け付けています。地域の中学生の職業体験や、看護実習生の実習も受け入れています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議では施設からの報告だけでなく、意見交換を行う事で近隣地域の現状などを知る事が出来ています。外出先としての情報なども教えて下さり、とても良い機会となっています。</p> | <p>運営推進会議では、ホームから利用者状況、ホームの行事、散歩や買い物等の外出状況、傾聴ボランティアとの交流、職員の勉強会等ケア提供の内容や取り組みを報告しています。参加者と意見交換をし、情報やアドバイスを得てサービスの向上に活かしています。会議では写真中心のホーム通信誌『ローズマリー』を配付し、参考にもらっています。会議の内容は詳細に記録し、玄関に置いて公開しています。外部からの参加者は、地域の代表、市職員、地域包括支援センター職員が中心です。家族は毎回呼びかけをしていますが、参加が無い状況です。ホームの行事には多くの家族が参加しており、行事の折に運営推進会議を同時開催するなど、今後家族が参加できる工夫を検討したいと考えています。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>市の担当者と連絡を取り、アドバイスを頂きながら運営を行っています。市の方の運営推進会議への参加もあり報告や相談の場としている。グループホーム部会へも毎回、参加しています。</p> | <p>市の担当者とは日頃から密な関係にあり、連携が取れています。運営推進会議に市の担当者が参加し、情報の提供やアドバイスを得ています。事故報告、外部評価の報告もしています。市の主催するグループホームの部会にも参加し、連携を深めています。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>法人全体として定期的に身体拘束や虐待に関する勉強会を行っています。感染症の流行時期はリスクを考え玄関の施錠を行う事はありますが、外部との行き来は出来る限り可能な状態を開設当初より保っています。</p> | <p>職員は身体拘束をしないケアの重要性をよく認識し、利用者支援に取り組んでいます。身体拘束をしないケアのマニュアルを整備し、定期的な勉強会も実施しています。法人主催の定期的な研修会にも参加して研鑽しています。日常的な会話についても職員が相互に注意し合いながら支援に取り組んでいます。ホームの玄関は、同フロアに大型犬がおり、扉を開けてしまうことから、電子ロックで施錠しています。事務所側からもガラス戸になっており、利用者がドアまでくれば開錠しています。常に職員は利用者の状況を見守り、付き添う支援に努め、自由で安全な暮らしの実現に取り組んでいます。リビング前のベランダは開放していて、利用者は自由に出入りしています。</p> | <p>職員は身体拘束の重要性について理解していますが、大型犬が出入りすることを避けるために施錠しています。電子ロックの暗証番号を掲示するなどの工夫をされてはいかがでしょうか。</p> |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>定期的な勉強会により虐待について学ぶ機会を設けています。また職員同士が指摘し合える仲間づくりに努めています。職員間の会話やストレスチェックにて心身の状況を把握し、虐待防止に繋げています。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>成年後見制度など権利擁護については勉強会などで学ぶ機会を設けています。机上での学びとなっていますがまずは知って頂く事と思っています。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>入退所時には、ご家族様とじっくり話をする機会を設けています。これから先の生活に対する不安を取り除けるように取り組んでいます。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>面会時には必ず声を掛け、お話を伺うようにしています。ご家族様からの意見や希望は職員間で共有し、ケアへとつなげています。</p> | <p>管理者・職員は、利用者や家族の意見を反映させる運営の大切さをよく認識しています。職員は家族の面会時に、利用者の状況を説明しながら意見や要望を聞くことに努めています。意見や要望は職員会議で共有し、支援に反映させています。家族の要望で始めた『母の日カレー』が定着したので、前回からバーベキューに変更したところ、好評で喜ばれました。家族に利用者の暮らしぶりを知ってもらえるよう、2か月毎にホーム通信誌の送付、年4回機関誌に手紙を書き加えて送付する取り組みをしています。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>管理者には随時、報告・相談を行っています。毎月の会議にも管理者の参加があり職員からの意見や要望について話を聞いて頂き、アドバイスを頂いています。</p> | <p>職員は月1回の職員会議で自由に意見交換をしています。管理者も毎回参加し、職員の提案や意見を聞いています。日常的な支援や記録様式の変更等は職員の意見や話し合いで実現しています。管理者は、毎年人事考課の際に職員と面接し、意向や意見を聞く機会にしていますが、職員の様子から必要と感じた時は、面談をして悩みを聞き、相談にのることもあります。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 法人の代表者である理事長は定期的に現場に足を運び、利用者様への挨拶や職員に対する労いの言葉を掛けて下さります。認定こども園の園長も兼任されており、子供たちと利用者様との交流の機会を設けて下さるなど、サービス提供のアドバイスなどもあり職員のモチベーションアップに繋がっています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 河内長野市のグループホーム部会や、毎月の会議の場を利用して勉強会を実施しています。一人ひとりのケアの質の向上に努め、指摘しあえる仲間作りに取り組んでいます。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 河内長野市のグループホーム部会が2ヶ月に1度開催されており、そこでの他事業所との情報交換や、勉強会の開催にて互いにケアの質の向上に取り組んでいます。 | | |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所時に出来る限りの情報収集に努めています。また、入所後も本人・家族様と会話をする事で不安の除去に努め、安心できる生活の場の提供に努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族、関係機関と連携しスムーズなサービス導入となるよう努めています。また、入所前に出来る限りの情報収集に努めています。入所後は普段の様子など伝えつつ家族様の要望にも耳を傾け、良好な関係作りに努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入所時に本人、家族様よりどういった支援を望まれているのか、困っている事は何なのか事前の情報収集に努めサービスの導入を行っています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 出来る事・出来ない事の見極めを行いながら、その人らしい生活がいつまでも行えるように危険が無いように見守りながら、支援しています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会・外出・外泊・買い物など家族様に協力して頂いています。また、母の日・クリスマス会・敬老会などの行事を通して、家族様と過ごせる時間を多く設けています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 外出時は行きつけのスーパーなどを利用し、馴染の場所づくりに努めています。老人保健施設に入所されています。方もおられる為、交流の機会を作り相互にとって良い関係づくりに努めています。 | 職員は、今までの関係が継続するよう、手紙や賀状、電話の支援もしています。また、遠方からの入居者もあり、馴染みの関係づくりとして、定期的に喫茶店に出かけ、そこでの新たな関係ができました。また、併設の介護老人保健施設や通所事業所の行事に参加する中で、関係構築ができるように働きかけています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様一人ひとりの意向を汲み取りながら、レクリエーションの時間などを利用し関わり合う時間を提供し、良好な関係の構築に努めています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 病院への入院や他施設への入所後なども、本人や家族様と関わりを持たせて頂き、必要に応じて相談なども受け付けています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の関わりの中で思いを汲み取るように支援しています。本人や家族様とも会話を重ね希望に沿った生活の提供を心掛けています。 | 入居前、アセスメントシートを活用し、これまでの自宅での過ごし方や趣味、習慣、どこでどのように暮らしたいかなど、一人ひとりの思いや希望を聴取しケースファイルにまとめています。また入居後も職員は、日常の会話や表情の中から、利用者の思いを把握し、どのような暮らしを望むのか、どのようなことをしたいか聞き取るよう努め、得た情報は記録に残しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所時の面接や生活を共にする中で情報を得るように努めています。家族様との会話では入所後の様子を伝えるだけでなく、入所以前の様子などを聞く事でより良い生活に繋げています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの性格・利用者間の関係性・心身の状況について日々の生活の中から情報把握に努めています。過剰な介護にならないように注意しながら、本人主体の生活を目指しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 計画作成者のみが計画を立案するのではなく、職員会議にて様々な意見を出し合って介護計画に反映させています。モニタリングは毎月実施し、3ヶ月に一度は介護計画の見直しを行っています。 | 介護計画の見直しは、3か月に1回行っています。一人ひとりの様子を介護計画書にまとめ、長年の生活習慣や好きなこと、嫌いなことなど情報を整理し、計画に活かしています。家族の面会は頻繁にあり、都度、利用者の様子を伝えたくて要望を聞き、介護計画に反映させています。計画は毎月の会議で報告し、一人ひとりの利用者の様子を情報交換し、モニタリング用紙にまとめています。日頃より家族との関係を築く中で、情報を得て、記録に整理し情報共有しています。記録用紙は、使いやすいように工夫し、少しずつ変更しています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 事実をありのまま記入し、介護計画に反映できるようにしています。一人ひとりの様子や変化については具体的に記入するようにしています。記入の力量には個人差がある為、会議の場を利用し記録の記入方法なども学ぶようにしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>すぐに出来ないと考えるのではなく、どうしたらできるのかを考えるようにしています。安全・自立支援・ADLの維持・認知症の進行予防を念頭に置きつつ、柔軟なサービス提供を心掛けています。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>散歩や買い物の機会を通じ地域に外出する機会を多く設けています。ホームの外に出ることで利用者様にとっては良い刺激となっています。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>主治医は毎週来訪して下さっています。利用者様との関わりも深く、安心した様子で皆様、診察を受けられています。他科受診や入院時も迅速に対応して頂いています。歯科医には必要時の往診だけでなく年に一回の検診も行って頂いています。</p> | <p>ホームの提携医は週に1回訪問していますが、利用者や家族の希望に応じて、従来のかかりつけ医への受診は可能です。併設施設に看護師、医師がおり、何かあれば相談できる体制が整っています。また、協力医療機関や併設の介護老人保健施設の医師や看護師とも常に連携を図りながら、急変時など24時間、夜間、緊急時の体制も整えています。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 併設するデイケアの看護師に毎日の状況を報告し適宜、助言を頂ける関係にあります。夜間や緊急時は併設する老人保健施設の看護師に相談することも出来、早期対応に繋がっています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 協力病院には入退院や受診が円滑に行えるように、日頃から連携を図っています。入院や退院の日程調整や、現状の報告などが行える関係となっています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 利用者様の状況に応じて、主治医・看護師・介護職員で相談し、必要に応じて主治医より家族様へ状況の説明を行っています。終末期に向けての支援として、家族様の意向を踏まえた上で主治医・看護師・介護職員にて相談し利用者様・家族様にとって最適な支援が行えるように努めています。 | 重度化や終末期に向けて、利用者、家族の希望に応じた支援をしています。「重度化した場合の対応にかかる指針」「急変時の延命等の意思確認書」も作成し、入居時に説明し対応しています。また、状態の変化があった場合には、利用者や家族の意思確認を行ない、希望に応じて、その都度話し合いを行っています。開設以来、数名の看取りにかかりました。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>併設する老人保健施設の看護師を中心にした勉強会を実施しています。また、職員会議の場を利用しての勉強会も行っています。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>災害時マニュアルを作成しています。また、年2回は利用者様にも参加して頂き避難訓練を実施しています。災害備蓄品や飲料水などの保管も行っています。</p> | <p>災害時のマニュアルがあり、年に2回、利用者も交えて、避難訓練を実施しています。そのうち、1回は消防署の指導を受け、同敷地内の介護老人保健施設の協力も得て、合同で実施しています。避難訓練の様子は、写真で残し、後で検証もしています。避難に要した時間なども、きちんと記録に残しています。消火器やスプリンクラーを設置し、各居室よりベランダに出ることができ、避難経路も確保されています。ベランダから1階へは滑り台で繋がっています。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者様にとって一番身近な存在でいられるように心掛けています。一人ひとりの性格などにも配慮しながら声掛けのタイミングや言葉を選んで対応しています。マナー研修・虐待・認知症についての勉強会も行い、言葉掛けの勉強にも努めています。 | 職員は、常に言葉遣いに注意を払い、利用者への声かけを行っています。日常生活場面でも、できるだけ自己選択できるような工夫をしています。「自立と尊厳」を重視し、人権や身体拘束廃止についての研修を行っています。また、研修会では、「居室に入るときにノックをする。カーテンを閉めてケアをする」「いきすぎのヒアリングに注意」など、具体的な対応方法について、話し合っています。また、職員同士で言葉遣いや利用者への対応等、気になることを注意し合う環境が整っています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者様に自己選択・自己決定して頂けるように声掛けを行っています。自己選択や自己決定が困難な時は職員が提言させて頂いています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 業務なども職員の都合ではなく、あくまで利用者様を中心とした生活の提供を心掛けています。一人ひとりの生活スタイルを把握し本人の希望に沿った支援を行っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 今まで使用していた衣類などを家族様に持参して頂くなど協力して頂いています。起床時・入浴時は本人に衣類を選んで頂き、そのひとらしいおしゃれを楽しんで頂いています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 週に1～2回は夕食作り・おやつ作りを行っています。旬の食材を使用し季節を感じて頂いています。3食とも併設施設で調理されたものを利用者と共に配膳・盛り付け・片付けを行っています。 | 食事は、ご飯をホーム内で炊いていますが、副食は併設施設で調理されたものを職員と一緒に利用者が厨房から運び、盛り付けを行い、配膳などできることに関わっています。朝食は、パンや雑炊、粥などメニューに工夫があり、希望に応じて毎日パンを食している人もいます。また、苦手な食材がある場合は、変更することも可能です。おやつ作りや、週に1回はホーム内で調理もしています。お米を研ぎ、包丁で食材を切るなど各自ができることを担っています。男の料理教室と題して、男性も一緒に調理に関わることもあります。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>老健の管理栄養士に栄養管理・献立の相談をさせて頂き、アドバイスを頂いています。毎食の食事量・水分量を記入しています。一人ひとりの摂取状況やADLに応じて食事形態の変更や自助具の使用などを随時行っています。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持 食後の口腔ケアを実施し、義歯の手口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>食後の口腔ケアを実施し、義歯の手入れが困難な方については職員にて手伝いをさせて頂いています。歯科医による検診を年一回、全利用者を対象に行っています。歯科医は急な要請にも迅速に対応して下さっており、口腔ケアに関しても気軽に相談させて頂いています。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p> | <p>排泄パターンの把握や水分量に注意し誘導や声掛けを行っています。可能な限りトイレでの排泄が行えるように過剰な介護はせず、自立に向けた支援を行っています。</p> | <p>職員は利用者の日ごろの行動パターンや習慣を把握し、トイレ誘導を行っています。トイレは各居室にあり、プライバシーを守れる環境となっています。また、利用者が快適に過ごせるよう、できるだけ布製下着やリハビリパンツにパッドを使用し、おむつの使用を最小限にしています。業者を招いてのおむつの研修会や併設施設におむつの当て方などの介護技術を学びに行くこともあります。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 運動量の確保や、バナナの提供・水分量の観察などを行っています。便秘時には主治医・看護師に相談し予防に努めています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 利用者様の体調や身体状況に合わせて、出来る限りご希望の時間や曜日に入浴できるように支援しています。湯の温度などにも注意しながら安全に入浴できるように努めています。 | 週3回の入浴が基本ですが、最低でも2回は入浴できるよう働きかけています。また、希望があれば毎日でも可能です。体調や気分により入浴が難しい場合は、清拭なども行っています。リフト浴や特別浴槽が必要な場合には、併設している施設での入浴も可能です。入浴を楽しむ工夫として、ゆず湯や菖蒲湯、入浴剤を利用しています。他の利用者と一緒に入浴をするようになり、入浴を楽しめるようになった利用者もいます。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 消灯時間は決まっていますが、居室にて過ごされる方や、フロアにて他利用者と談笑される方やテレビを観られる方など様々です。寝具も思い入れのある物等を使用して頂き、安心して入眠できる環境の提供に努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 内服薬の副作用や効果などは主治医に確認し、職員間で情報の共有に努めています。内服後の状態変化などにも着目し普段の支援にも繋がっています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者様の笑顔を第一に、安全面に配慮しながらも出来る限り、一人ひとりの思いや希望に添えるように支援しています。出来る事、したい事の実現に向け職員間での協力を行っています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 出来る限り、希望に添えるように支援しています。近隣への散歩や買い物だけでなく、花見や初詣など利用者様の希望や思いに応えられるように支援しています。 | 日課として数名の利用者と毎朝散歩に出ています。中には外出を望まない利用者もありますが、無理強いすることなく対応しています。今後、職員は、少しの時間でも外出の機会を増やしたいと思っています。 祭り、花見、初詣などの行事には家族の協力を得ながら、出かけています。また、法人全体での旅行も恒例となりました。冬場や外出を望まない場合でも、できるだけ外気に触れることができるよう、ベランダや併設施設内の館内の散歩には出かけています。 | 重度化や外出を望まない利用者に対しても、今後様子を見ながら、外出の機会をつくられてははいかがでしょうか。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>家族様の協力もあり、利用者様が使用できるように少額ですが所持されています。自動販売機の利用や売店、訪問販売を活用しています。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>電話や手紙のやり取りは利用者様が希望された時は、いつでもする事が出来ます。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 過ごしやすい家庭的な環境作りを心掛けています。館内は季節に応じた飾り付けやベランダにて花を育てたり家庭菜園を行うなど、今までの生活環境に近く、居心地の良い施設作りに取り組んでいます。 | 2階のエレベーターを上がると事務所があり、グループホームの玄関(入口)があります。ホーム内は明るく、廊下やリビング兼食堂もゆったりとした空間となっています。リビングにはソファやテレビを置き、掘りごたつのある畳のスペースには、季節を感じられるように、7段の雛人形を飾っています。また、壁には、利用者と一緒に作製した作品を飾り、花を活け季節感を感じられるように工夫しています。身近に台所用品があり、調理する生活音、食事の匂いなど、利用者の五感を刺激しています。 リビングから繋がるベランダにはプランターに花が植えてあり、テーブルや椅子を設置し、皆でお茶やバーベキューを楽しむ空間となっています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共用空間はベランダ・ソファ・食堂などがあります。仲の良い利用者様同士で談笑されたり、趣味に没頭できる場にもなっており、思い思いに過ごされています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家族様の協力もあり、使い慣れた家具や好みの物を配置しています。アルバムや水筒なども使い慣れたものを持参されており、職員も大切に取り扱いさせて頂いています。 | 居室にはトイレ、洗面台、木製の家具、電動式ベッドが備え付けてあります。居室には、危険物以外なんでも自由に持ち込むことができます。居室入り口に作品を貼り、表札を掲げるなど、自身の部屋と分かるような工夫をしています。また、入り口には、暖簾を吊るしています。明るく、掃除の行き届いた部屋には、使い慣れたタンス、テレビ、時計、カレンダー、ぬいぐるみ、家族の写真、花など飾り、個性ある部屋づくりに努めています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 日々の関わりの中で、出来る事・出来ない事の見極めを行い、過剰な介護にならないように気を付けています。安全に配慮しながらも出来る限り、自立した生活が送れるように支援しています。 | | |